

## 大会名: 第11回ミスノオープン ソフトボール大阪大会

準決勝

会場: 大阪市 舞洲運動広場

試合日: 平成23年 5月 1日 試合No. 29

### 試合戦評 **西陶器クラブ 投打で圧勝** !

西陶器クラブは、初回4番中村の2点タイムリーで先制し、2回には5点、3回には楠の2点本塁打で加点し、終って見れば毎回得点の17点を挙げて決勝戦へ駒をすすめた。

この試合で1番楠が5打数5安打と活躍、又4併殺の堅い守りを見せた。

一方野々北は、2回無死一、二塁と反撃の糸口を作るもチャンスを物にすることが出来ず、決勝への進出を絶れた。

記載者 西越喜美久

準決勝

試合No. 30

### 試合戦評 **決勝進出は ネオイーグル** !

1回表栄星クラブは、1番の四球と3番、4番の連打で1点を先制するが。その裏ネオイーグルは、徳村の3点本塁打、森山、広瀬の連続本塁打、上江の3点本塁打などの猛攻で10得点と一気に逆転。徳村投手が相手打線の反撃を断ちネオイーグルが初の決勝に駒を進めた。

一方栄星クラブは、先制するも初回の失点が大きくその後の反撃も1点を返すのみで涙をのんだ。

記載者 江頭裕美子

決勝

試合No. 31

### 試合戦評 **西陶器クラブ接戦を制し初優勝** !

西陶器クラブは、初回4点を挙げ主導権を握った。3回には逆転を許したが、その後粘り強い攻撃で追い上げ5回には逆転するも又も同点にされた。6回楠が内野安打で出塁、その後3塁まで進め中村の犠飛で再びリード。その後を守り抜いて勝利した。

一方ネオイーグルは、リードされた3回、三岡の3点本塁打で逆転し再びリードされるも5回に同点に追いつきと白熱した試合展開を見せるも後一押しが出来ず涙をのんだ。

最後まで目が離せない、決勝戦らしいすばらしい試合だった。

記載者 奥野美江子